

平成26年度 一般財団法人日本拳法会第2回 定例部長会 議事録

日 時：平成27年2月7日（土）午後2時開会 午後3時閉会

場 所：徐園 3階会議室

出席者：【会長】 茂野直久

【副会長】 佐藤賢治・井上晴雄・木村京守・藤川義人

【局長】（総務）横谷茂雄・（渉外）片山善文・（事業）上田武司・（競技）緒方憲吾

【審判団長】 高 信志

【部長】（総務）篠崎 正・（企画・開発）高田秀信・（広報）沼田悦男・（渉外）井尻丈士

（国際）岩尾 勤・（財務）北村清明・（技術）川端幹夫・（研究）川口裕久

（指導）雑古哲夫（事業第一）内田義春・（事業第二）竹中洋一・（事業第三）松本良朗

【競技連盟部長】（社会人連盟）三澤 登・（学生連盟）山本隆造・（高校連盟）中村安治

（少年連盟）小泉賢一郎・（実業団連盟）村上政行

【府県連盟部長】（大阪府）藪 達敏・（兵庫県）石本 聰・（奈良県）撫養義朗

（京都府）中栄一誠

【副部長】（経理）富永志郎

【昇段級審議会副議長】 深山陽生

【団長補佐】 西光悦治・中本善信

【常任監事】 好住隆志 【監事】 井藤晴久

定款32条に基づき総会成立の旨、総務部長より報告。

定款33条に基づき茂野会長が議長となり議事進行。

新役職は

議題1 援助金について

会長より以下の説明があり、満場一致で承認された。

（1）援助金は団体の運営費では無く、大会開催費に対して支給する方針である事。

（2）27年度に精査、見直し、28年度より実施する予定である事。

実業団連盟部長より、26年度の金額が変更された理由について質問があった。

会長より大会規模によって考慮した旨説明があり、実業団連盟部長より変更がある場合は早めに連絡が欲しいとの希望があった。

藤川副会長より、大会終了後速やかに決算書およびパンフレットを提出する様、要望があった。

議題2 公益化について

藤川副会長より公益法人認定についての現状と経緯について説明があった。

議題3 少年級認定について

総務局長より、道場の収益を阻害しない事を前提に、日本拳法会が少年級認定をする方針である旨説明があった。

会長より、少年級認定について背景と経緯の説明があった。

競技局長より、全国少年連盟が少年級認定を行うつもりは無い旨報告があった。

少年連盟部長より、日本拳法会が少年級の認定を行う事に反対では無いと意見があった。

社会人連盟部長より、成人との整合性を考えて4級までとすれば良いとの意見があった。
日本拳法会が少年級認定を行う方針について、満場一致で承認され、その方針に沿って少年部・昇段級審議会・総務局で委員会を立ち上げ具体化する事とする。

議題4 総合選手権について

経理副部長より、協力金未納者について発表があった。
来年度実行委員長に横谷茂雄氏が推薦され、満場一致で承認された。

議題5 27年度行事日程について

事業局長より、27年度行事日程（案）が配布され説明があった。
次回部長会で表示方法を決定。申請の締め切りは2月25日とする。

藤川副会長より、閉会の辞。

以 上

議事録署名人

印

印